



2学期スタート ～3年生、進路確定の正念場～



8月25日から2学期がスタートしました。まずは、生徒全員が元気な姿で体育館に集合している様子を見て、安心しました。また、一人ひとりが充実した夏休みを過ごし、2学期に向けて意欲に満ちた雰囲気を感じられました。この2学期は長丁場となりますが、特に3年生にとっては進路を確定する正念場を迎えます。担任の先生や学年主任の先生、そして進路指導部の先生方からの連絡や説明を確実に聞いてください。そして、各種手続きの締切期限をしっかりと確認してください。総合型選抜や学校推薦型選抜への出願、大学入学共通テストの出願・登録などについて、漏れのないよう確実に確認しておきましょう。決して慌てることのないよう、余裕をもった計画と準備を進めてください。2学期は、進路実現に向けた大切な時期であると事も予定されています。これらのとのできない大切な思い出となる事を成功させるために、一つだけです。それは、「仲間との協力」です。活動することで、より大きな達成感健康に留意しながらした学校生活人ひとりが大きく成長する2学期と



同時に、向陽CUPなどの学校行事は、皆さんにとって忘れることでしょうか。そして、これらの行忘れてはならないことがあります。互いを思いやり、支え合いながら喜びを味わうことができます。を送り、3学年の生徒の皆さん一人なることを期待しています。

1・2年生の皆さん「今一度、目標の確認」

2年生の皆さんは、すでに学校の中心的存在であるという自覚を持ち、学校生活を送ることができていますか。部活動では新チームでの活動が始まり、上級生としてチームをまとめ、引っ張っていくことの大変さを感じていることと思います。暑いグラウンドや体育館、プール、そして校舎内での活動は、決して楽なものではなかったはずで。そのような中で、さまざまな課題を抱えながらも、一生懸命努力し、取り組んでくれました。これからのさらなる活躍を大いに期待しています。1年生の皆さんは、高校生活にもずいぶん慣れてきた頃ではないでしょうか。入学当時に抱いていた目標に変化はありますか。将来の目標は明確になっていますか。そして、その目標に向かって努力を続けていますか。入学や進級直後の1学期に比べると、2学期は学校生活や学年、ホームルームにも慣れ、気持ちが緩みやよくなる時期でもあります。いわゆる「中だるみ」が生じやすい時期です。もちろん、常に緊張感を持ち続けることは難しいことですが、「中だるみ」をしてしまうと、その後に挽回するのは容易ではありません。自分自身の目標を改めて確認し、その実現に向けて、学習面でも生活面でも、1学期の自分をさらに積み上げるような成長を期待しています。決して他者と比べることなく、自分の歩幅で一步一步成長する2学期にしてください。皆さんならきっとできます。



「3年の生徒、担任、学年主任、進路指導の先生方のこれまでの努力と意思の結晶」



これは、3学年生徒の推薦書類の一部です。実際は、この約3倍もの量の書類を各担任の先生方、盛田先生、そして進路指導の先生方が確認・点検しています。もちろん、推薦書類は3年生一人ひとりの3年間にわたる努力と頑張りがあってこそ完成するものです。その思いに応えるため、担任の先生方も生徒一人ひとりに寄り添いながら丁寧に書類を作成しました。さらに、それを支える盛田先生をはじめ、進路指導の先生と森田さんなど、全ての方々の思い等が重なった推薦志願書資料です。

体育着登校が教えてくれたこと

今年から、本校では初めて体育着登校が実施されました。これまでも生徒の皆さんから要望がありましたが、今年ようやく実現することができました。ほぼ全員が体育着登校している姿を見ると、実施できて良かったと思っております。また、部活動着やクラス T シャツは着用しないという約束を、皆さんがしっかり守っていることも、この取組を支える大切な要素となっています。この実施にあたって、皆さんに、ぜひ大切にしてほしいことが 2 つあります。1 つ目は、「声をあげること」です。生きていく中で、「こうだったらいいのに」「このように変わったらもっと良くなるのに」と思うことがあると思います。しかし、その後に「これまでずっとこうだったからな」「言っても変わらないだろう」と考えてしまうことはありませんか。実は私自身にも、そのように思ってしまうことがあります。しかし、今回の体育着登校の実現は、これまで皆さんや先輩方が声をあげ続けてきたからこそ実現したものです。「言っても変わらない」「社会は変わらない」とは思わないでください。変化のきっかけは、誰かが声をあげることから始まります。だからこそ、自分の考えや思いを伝える勇気を持ってほしいと思います。2 つ目は「支えてくれる人がいる」ということです。もちろん、声をあげれば、全ての人が賛同し、サポートしてくれるわけではありません。しかし、声をあげることで、その思いに共感し、支えてくれる人や賛同してくれる人が現れることがあります。今回の体育着登校でいうと、下地先生を中心とした生徒支援部の先生方がその存在でした。先生方は生徒の声を受け止め、支え、職員会議で提案してくださいました。そして全職員がその考えに賛同し、実施へとつながりました。皆さんもこれからの人生の中で、誰かの声に賛同し、支える立場になることがあると思います。その時には、ぜひ相手の思いに耳を傾け、支えてあげる存在となってください。



体育着登校の実施から学んでほしいことは、「声をあげること」と、声をあげることで「支えてくれる人がいること」の 2 つです。卒業後も、この 2 つを忘れることなく、ぜひ実践していきましょう。

教育実習はじまる！ ～久しぶりの母校へ～

現在、教職は残業の多さや、外部からのさまざまな要望・苦情への対応などから「ブラック職業」と言われることがあり、教職を避ける学生が多いと聞いております。そのような中、富永さん、渡久地さん、新本さん、上地さん、金武さん、原口さん、伊敷さん、宮里さんの 9 名の皆さんが、教師を目指し、本校で 2 週間(8月 31 日～9月 11 日まで)の教育実習を行う予定です。

この 2 週間は、母校の教壇に立ち、後輩たちの活躍を間近で見ることができる貴重で素晴らしい日々になると思います。多くの実習生は 1 年生のホームルームに入りますが、体調に十分留意しながら、教師という素晴らしい職業の魅力ややりがいを感じ取ってほしいと思います。また、生徒の皆さんも、先輩である実習生との日々を大切に、交流を楽しんでください。

最後に、向陽高校出身の先生方は本校にも勤務していますが、教師としての高い使命感をもち、生徒に対しても熱い思いがあります。また、これまで多くの向陽高校出身の先生方と仕事をさせていただきましたが、どの方も素晴らしい方々でした。皆様もその素質があります。是非、教師になって下さい！



「向陽CUP」まで
あと 14 日



「共通テスト 100 日」まで
あと 37 日

